

罹災証明申請書

小林市長 殿

令和 年 月 日

申請者 (世帯主)	住所
	電話番号 (現在の連絡先)
	電話番号 (ふりがな)
氏名	生年月日 年 月 日

窓口に 来られた方 (申請者と同じ場合 は記入不要)	住所
	電話番号 (ふりがな)
氏名	申請者から見た関係

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

被災物件の 所在地 (申請者住所と同じ 場合は記入不要)	
---------------------------------------	--

被災物件の 区分・構造	<input type="checkbox"/> 住家(日常的に居住している住宅) <input type="checkbox"/> 非住家(<input type="checkbox"/> 住宅(空家) <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/> 車庫 <input type="checkbox"/> その他()) <input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 非木造
----------------	--

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のことをいいます(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)。

被害状況	<input type="checkbox"/> 浸水被害(<input type="checkbox"/> 床上 <input type="checkbox"/> 床下) <input type="checkbox"/> その他被害(以下に記入)
------	---

写真による被害 区分の判定(※)	<input type="checkbox"/> 希望する(写真を添付) <input type="checkbox"/> 希望しない
---------------------	---

※ 以下に該当するには、現地調査を省略し、写真により被害区分を判定することが可能です。

写真による判定を希望する場合は、「希望する」欄にチェックをしてください。

・地震による被害を受けた建物の写真から「全壊」と判定できる場合

・水害による被害を受けた建物の写真から浸水深が確認できる場合

・申請者の合意に基づく自己判定方式による一部損壊の判定を行う場合

(「全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊、準半壊、準半壊に至らない(一部損壊)」の6つの被害区分のうち、「準半壊に至らない(一部損壊)」の判定となります。)

※ 添付された写真から被害の程度が判断できない場合は、必要に応じて現地調査を行うことがあります。

写真による被害区分の判定を希望しない場合は、写真の添付は必須ではありません。

